

病院長名	野々垣 浩二
所在地	〒457-8511 名古屋市南区白水町9番地
交通案内	名鉄常滑・河和線柴田駅南口下車（徒歩3分） <市バス利用> 柴田本通一丁目下車（徒歩5分） 又は白水町下車直ぐ

□ 病院の特徴

患者に選ばれる病院をめざす

大同病院は、名古屋市南部および隣接市に広く跨る地域の中心的な救急・急性期病院であり、また同社会医療法人の関連施設や地域の医療・福祉施設で形成する、地域に寄り添う包括ケアシステムの中核病院として地域医療に貢献しています。救急センターでは1次から3次まで幅広い症例の受け入れを可能とし、年間救急車搬送台数は7500台を超えます。中でも小児医療は24時間365日、救急・重症患児の受け入れが可能であり、在宅診療も行っています。私たちが大切にしているのは、医療技術・設備・質は言うまでもなく、そこで働く人たちの医療にける真摯な思いです。そのどれもが充実していなければ実現しないHospitalityを提供できる病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

優しさと強さのある小児科医になる。 研修内容最重視のプログラム！

【大同病院 小児科 専門研修プログラム】

新生児から思春期、急性期から慢性期まで、充実した指導体制と県内市中病院トップクラスの豊富な症例経験により、「子どもたちの総合医」育成を行います。

入院患者の主治医として多彩な疾患を経験します。比較的難しい疾患や珍しい疾患を指導医・上級医の下で積極的に診療し、カンファレンスを行いながら経験と学習を積み重ねます。重症患者をひとりの主治医が抱え込むことなく複数の医師が診察することで治療に様々な意見が取り入れられることと、主治医の疲弊を防ぐメリットがあります。専門分野の勉強、学会発表なども積極的に推奨します。

また、専門研修の一環として救急にも力を入れています。重症患者の評価と治療を速やかに行うことで、臨床能力を向上させることが可能です。この場合も必ず上級医がサポートすることで、若手医師も安心して重症患者の診療をおこなうことができます。

連携施設研修では、複数の大学病院と協力して数多くの優れた指導医の下で、NICUでの新生児医療や大学病院でしか経験できない高度先進医療（血液・腫瘍、先天性心疾患、内分泌疾患など）を学び、研究に触れることで、小児医療の奥深さを学ぶことができます。あいち小児保健医療総合センター・静岡県立こども病院では、小児救急・集中治療、膠原病・リウマチ疾患、名古屋医療センターでは血液・腫瘍、聖隷浜松病院では、新生児治療などの専門医療を学ぶことができます。また、にじいろのいえでは、重症心身障害児・医療的ケア児・在宅療養を必要とする子ども等に対するサポートについて研修します。

□ 主な連携・関連施設

名古屋市立大学病院 名古屋大学医学部附属病院
愛知医科大学病院 あいち小児保健医療総合センター
名古屋医療センター 静岡県立こども病院 聖隷浜松病院
重心施設 にじいろのいえ だいどうクリニック



□ メッセージ

指導医（大同病院小児科専門研修プログラム責任者・大同こども総合医療センター長） 浅井 雅美

私たちにはやりたいことがたくさんあります。

まずNICUなど周産期医療。大同病院は名古屋市南部地区では出産数が最も多く、2022年よりNICUをさらに拡充しました。24時間365日小児救急患者を受け入れていますが、重症児は時にICUでの治療が必要になります。私達小児科医が全身管理を担う事で外科系重症児も受け入れています。地域の子どもの命を救うための高度医療をさらにすすめて行きたいと思えます。

一方、医療的ケアが必要な児の在宅サポートや母と子どもの様々な相談、発達障害児の療育など細やかな対応が必要な分野でも中核的な役割を果たしたいと思います。大同病院が子どもにかかわる様々な職種の人や患者さんが集まる場所でありたいと思えます。

高い意欲を持った若い医師が研修の場を与えられ、経験を積みながら育っていくことを応援しています。働き方の改革により小さい子どもがいる女性医師も働きやすい職場です。



□ 募集要項

・採用予定人数	小児科専攻医として2名
・給与	<年収想定>（賞与・諸手当含 内科系専攻医参考） 3年次 約770～920万円 4年次 約830～990万円 5年次 約880～1100万円
・当直回数	救急センター時間外小児科当番 3～4回/月
・当直手当	※時間外救急センター当番は、当直ではなく勤務として支給
・その他	学会補助： 年2回（発表を伴うものは制限無し） 住宅補助： 50,000円/月 社会保険： 健康保険、厚生年金、労災、雇用保険 福利厚生： 職員旅行（年1回/2年に1度海外旅行） 育児・介護必要時の深夜業務免除等 有り 病児・病後児を含め24時間託児保育利用可能 休暇制度： 指定休2日/月、年次有給休暇20日/年、 夏季休暇6日/年、年末年始休暇5日/年、 慶弔休暇、産前産後・育児・介護休暇等
・応募連絡先	担当者 卒後研修支援センター 大島 巧 電話番号 (052) 611-6261 Eメール kenshu@daidohp.or.jp